

- 続きまして、ワールド・ワイド・ラーニングコンソーシアム構築支援事業における、高校生国際会議に向けた関連プログラムのキックオフイベントの開催につきまして、ご説明申し上げます。お手元にあります〔ニュース〕リリースは、先日9月9日付けで御案内させていただいております。
- このキックオフイベントは、明日9月12日土曜日に、広島YMCA国際文化センターにおきまして実施するものでございます。本日は、ワールド・ワイド・ラーニングコンソーシアム構築支援事業の取組につきまして、補足を交えながら、説明させていただきます。
- この事業は、昨年度、文部科学省の指定事業として、広島国泰寺高校を拠点校といたしますコンソーシアム、共同体が採択されたものでございまして、新たな社会を牽引するイノベティブなグローバル人材を育成することを目指し、拠点校を中心に、これまで先進的なカリキュラムの研究や開発を行ってきた学校と大学や企業等が連携して高度な学びの機会を提供するネットワーク、アドバンスト・ラーニング・ネットワークを構築していくものでございます。採択期間が3年間でありまして、今月末でちょうど折り返し地点を迎えます。
- コンソーシアムを構成する事業連携校を、資料の裏面に挙げてございますけれども、それぞれの学校が、SGH、スーパー・グローバル・ハイスクールですとか、SSH、スーパー・サイエンス・ハイスクールなど、これまで先進的なカリキュラムの研究や開発を行ってきた学校でございます。各校のこれまでの研究成果を参考に、自校のカリキュラムの改善を行うとともに、新たな成果を他の学校に普及していく、そんなイメージでございます。
- 昨年度来、そのようなネットワークにおける学びを経験した高校生たちが、「平和」をテーマに、社会課題の解決策を探る研究の成果発表ですとか、世界に向けた「平和」メッセージの発信の場を自分たちで企画、それから運営するのが、令和3年度に実施いたします「高校生国際会議」でございます。
「国内フォーラム」はその中間イベントといたしまして、今年度2月に実施する予定でございます。なお、ここで申し上げます「平和」は、SDGsでも取り上げてお

ります。「貧困」問題など〔の解決した状態〕を含む広義の「平和」を指します。

- これらの行事に向けまして、高校生たちは、3つのグループに分かれて活動を行います。これについては裏面を御覧ください。一つ目は、行事の企画・運営を行います「生徒実行委員会」、それから二つ目が、「平和」をテーマに行った探究活動の研究発表を行います「探究プログラム」、それから三つ目が、「平和」をテーマに海外や国内の多様な他者と議論をファシリテートする「高度なコミュニケーション」のグループでございます。

- 明日の各プログラムのキックオフイベントでございますが、午前中に「探究プログラム」と、「高度なコミュニケーション」のチームが合同で実施いたします。キックオフイベント以降は、基本的には、こういった時期でございますので、オンラインで活動を進めてまいります。その中で海外の人と英語で講義を受けたり、議論したりします。

- 午後からは「生徒実行委員会」のキックオフイベントを実施いたします。
「生徒実行委員会」のプログラムは、明日に引き続いて、9月19日土曜日に平和公園の慰霊碑周辺でフィールドワークを行う予定でございます。午前中のフィールドワークの後、広島国泰寺高校におきまして、フィールドワークで見たり聞いたりを基に、「平和」について、ディスカッションを行います。
それ以降の活動は基本的にはオンラインで、「高校生国際会議」に向けた準備を進めてまいります。

- この機会を通しまして、プログラムに参加する高校生を中心に、広島から「平和」のうねりを生み出してくれることを期待しております。こうしたコロナ禍でも、工夫して、いや、コロナ禍だからこそ「平和」というテーマは、大切だと感じております。